

令和8年3月9日

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況
(令和7年度) あんしんケアセンター

○さつきが丘 P1～P5

○幕張 P6～P9

○こてはし台 P10～P14

○花見川 P15～P20

○にれの木台 P21～P27

○花園 P28～P31

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和7年度）
あんしんケアセンターさつきが丘

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・センター主催の健康づくり教室の開催 ・喫茶、サロンの運営協力 	<p>花見川いきいきプラザの協力のもと、6/11（水）、11/12（水）、3/11（水）の計3回、さつきが丘公民館にて『エンジョイさつきが丘』を開催。モルックとボッチャを組み合わせたモルボ体験を行った。参加者は延べ45名だった。</p> <p>・計4件の喫茶、サロンにて、参加者の傾聴対応の他、地域内のイベント周知やボランティア事業への案内と情報共有を行った。</p>	○
(2)	交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの運営協力 ・グループホームと地域住民の橋渡し 	<p>・ケアラズカフェ（ここカフェ）において、傾聴対応や地域福祉の情報提供の他、新規参加者に対し、当事業所の周知活動を計11回、139名に対し行った。</p> <p>・ガーデンコート千葉さつきが丘の花壇ボランティアにおいて、地域高齢者と入居者が気軽に集える場の提供づくりを行った。通算10回の開催で延べ21名の地域高齢者が参加した。</p>	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議 	<p>8/5（火）千草台ハイツ自治会にて地域ケア会議を実施。参加者の自治会員3名に対しニーズ調査を行う。ゴミ出し課題とあんしんケアセンターの周知に関する希望があった為、8/29（金）に千草台ハイツの全110世帯に対し、あんしんケアセンターのチラシ配布を行った。</p> <p>後期の2/19（木）に自由参加の形式で、前回出席いただいた自治会員に対し、フィードバックと今後の方針を目的とした2回目の地域ケア会議を実施した。</p>	○

(4)	地域の機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区民児協定例会参加 ・ 地域関係者との関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/10（土）に来賓として、社協さつきが丘、宮野木台地区部会の総会に出席した。 ・ 5/10（土）に205地区、5/12（月）に214地区の民児協に参加し、前年度の事業所における総合相談内容の内訳を掲載した資料の配布を行った。 ・ ケアラーズカフェ（ココカフェ）については、カフェ終了後の反省会に参加し、関係者と地域福祉等についての意見交換を行った。また、シニアリーダー体操教室（6ヶ所）については、教室終了後にシニアリーダーと活動に関する悩みや課題などについての意見交換を行った。 	○
-----	---------------	---	---	---

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況	
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス運営推進会議 ・ 高齢者見守り訓練 ・ シニアリーダー養成講座の周知 ・ 地域住民の強みを活かした役割支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席依頼のあった圏域内の地域密着型サービス運営推進会議に可能な限り出席し、福祉サービスの向上に向けた意見交換を行った。出席依頼のあった事業所数は計13ヶ所で、会議出席回数は37回であった。 ・ 9/20（土）にあんしんケアセンターこてはし台と協働し、花見川いきいきプラザ秋祭りのイベントのひとつとして、認知症クイズラリーを開催し、後期の12/20（土）も同様に花見川いきいきプラザクリスマスイベントにて、認知症の見守り声かけ訓練を実施し、計226名の参加となった。 また後期には10/26（日）の区民まつりにて花見川区の全センターと共同で、認知症声掛け訓練及びどこシル伝言板の啓発を行い、計265名の参加となった。 ・ 第2層生活支援コーディネーターと連携し、シニアリーダー養成講座の修了者（5名）がシニアリーダーとして地域で活動できるようヒアリングを行い、適宜助言した。 ・ 第2層生活支援コーディネーターと連携し、11/5（水）に地域高齢者の趣味を活かした自然観察会を開催、参加者は計9名であった。 	○

(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 ・通いの場を訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・6/27(金)、12/12(金)、にさつきが丘いきいきセンター、6/30(月)、2/21(土)に花見川いきいきプラザにて開催された健康フェスティバルに参加し、基本チェックリストの実施といきいき活動手帳を配布した他、参加者の生活相談を行った。なお、2ヶ所の健康フェスティバル参加者の内訳は、さつきが丘いきいきセンターが52名、花見川いきいきプラザ(あんしんケアセンターこてはし台と協働)が70名であった。 ・地域の通いの場、交流の場の計17団体を訪問し、参加されている地域高齢者に対して介護予防に関するチラシ(当事業所作成のあんしんさつきが丘便り含む)の配布と説明を行った。また、活動状況の把握に努め、通いの場、交流の場が必要とされる地域高齢者に対し、適宜情報共有を行った。 	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・出張講座 ・認知症サポーター養成講座 ・終活講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/28(月)に1-35地区のふれあいサロンにて、消費者被害と脳トレについての講話を開催、14名が参加した。 ・5/4(日)にファーム栗の木 家族会にてあんしんケアセンターと消費者被害、権利擁護についての講話を開催、12名が参加した。 ・8/25(月)に1-35地区のふれあいサロンにて「薬について知ろう」「自分で体調管理をしてみませんか」の講話を開催、14名が参加した。 ・10/20(月)に千種団地町内会にて血圧・握力測定とフレイル予防の講座を開催。花見川区健康課に講師を依頼し、12名が参加した。 ・6/1(日)の社協さつきが丘・宮野木台地区部会「福祉まつり」にて養成講座を開催し13名が受講した。 ・9/29(月)にさつきが丘東小学校にて5学年を対象にキッズサポーター養成講座を開催し、38名が受講した。 ・前期・後期共に周知活動を行ったものの、開催出来ず。次年度の開催を目標とする。 	△

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者被害に関するチラシの配布 ・ 消費者被害に関する出張講座 ・ 消費者被害勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通いの場、交流の場9団体へ訪問し、参加されている地域高齢者に対し、チラシの配布と説明を行った。 ・ センター独自での開催はできなかったが、上記交流の場の訪問時にチラシの説明と消費者被害の注意点について5~10分ほどの講話を行った。また2/13(金)にURさつきが丘と共催で防災講座・特殊詐欺被害防止講座を実施、防災講座の講師をコープみらい様に、特殊詐欺被害防止講座の講師をゆうちょ銀行花見川店様に依頼した。 ・ 消費者被害に対する職員の意識付けを高めるため、事業所内にて勉強会を1/27(火)にセンター内で開催した。 	○
(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時訓練 ・ 安否確認 ・ BCPの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の事業所における全体会議時に非常用自家発電機と防災ラジオの試運転を行った。また、災害対策としてヘルメットを準備している。 ・ 事業所作成の安否確認リストに掲載されている高齢者に対し、自宅訪問や電話にて安否確認を行った。また、安否確認リストは3ヶ月に1回更新している。その他、災害等が発生した際には、安否確認リストに掲載されている高齢者の支援を最優先する。 ・ 最低年1回は計画を更新している(R8年3月1日付で更新済み)。また、法人内の居宅介護支援事業所とあんしんケアセンター合同にて、災害対策委員会と感染症対策委員会を立ち上げ、今後の研修や訓練について協議し、感染症対策研修を行う。 	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

<p>令和7年度の取り組み状況 (上記項目の総括)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ、出張講座の回数が大幅に減少してしまった。終活講座、消費者被害の出張講座を開催する事が出来なかった。 ・あんしんケアセンター主催の『エンジョイさつきが丘』を予定通りに実施する事ができた。また、多くの通いの場や活動に参加する事が出来た。 ・民生委員や自治会など例年通りに総会に参加、協力関係を構築する事が出来た。 ・重点活動地域において地域ケア会議を2回開催する事が出来た。千種台ハイツからの相談は例年少なく、あんしんケアセンターの周知及び各住民の個別支援につなげる為、センターのチラシを全戸配布したものの、支援につながった件数は現状1件のみ。今後介護や医療等、福祉に関する相談を迅速に出来るよう、関係強化を図った。
<p>令和8年度の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は誰もが住みやすい地域づくりを目標として、地域の諸団体を中心とした各種関係機関と連携して顔の見える関係づくりを行い、地域課題の解決に努める。新たな重点地域として、三角町・千種町を検討している。 ・昨年度からの地域資源として、事業所主催の「エンジョイさつきが丘」を来年度も継続していく。次年度も今年度と同様に3回の開催を予定している。 ・第2層生活支援コーディネーターと連携して、地域活動の担い手の育成・発掘をしていく。
<p>今後の課題と方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ出張講座の開催が大幅に減少した。講座開催の周知を行ったものの、令和7年度では開催に繋げることが出来なかった。来年度は地域住民に対し消費者被害や終活講座を中心とした講座を外部で開催出来るよう努める。
<p>令和7年度の達成状況の中間報告 (自己評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上） ○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満） △：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満） ×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和7年度）
あんしんケアセンター幕張

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	たんぽぽ広場	・ 定例で通算12回開催。参加者毎回10名前後。 初めて幕張地区単独開催でたんぽぽ広場祭り・区民まつりを実施。幼児から高齢者と多世代、保育所の園児・地域の親子連れ・認知症当事者・その家族・地域の方々・老人会会長・民生委員・花見川区社協・花見川区生活支援コーディネーターなどが集い交流を深め、閉じこもり、孤立予防、認知症共生社会につながる活動を行った。延べ参加人数：約130人	◎
		ふみこさん家	・ 定例で通算24回開催。延べ約360人参加した。 歩いて通える場所で集い、体操・歌唱・脳トレ・朗読会・各種出し物・花壇の整備など様々な活動を通じて閉じこもり防止や地域交流、仲間づくり、居場所づくりを行った。	
(2)	交流の場づくり	たんぽぽ広場 ふみこさん家	上記参照	◎
		認知症カフェの立ち上げ・運営協力	・ 定例で6回開催。今年度10月から開始。 延べ約120人参加した。 社会福祉法人がコミュニティカフェ&ケアラーズカフェ開催、運営支援を生活支援コーディネーターが中心となりおこなった。	

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	・ 個別地域ケア会議を通算5回開催。 家族、警察、不動産業者、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所、高齢障害支援課、あんしんケアセンター幕張と本人の意思決定支援のための協議を行った。	◎

(4)	地域の機関・団体等との連携	多職種連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・通算2回開催 第1回はあんしんケアセンター花見川と合同で「意思決定支援について」をテーマに医療職と介護職の連携について会議を開催。 後半に向けて花見川区全域で「生活支援コーディネーターを知ろう」をテーマに、花見川区6センター合同で会議を開催予定。	◎
		シニアリーダー体操	<ul style="list-style-type: none"> ・通算84回訪問。 シニアリーダー体操教室（7ヶ所）を毎月、訪問し、あんしんの周知や介護予防の働き掛けをするとともにリーダーと活動に関する悩みや課題を共有する。	
		住民主体団体	<ul style="list-style-type: none"> ・通算12回参加。 定例参加の幕張ファミリーハイツささえあい会参加、 <ul style="list-style-type: none"> ・通算4回参加 今年度初めて組織された幕張シャルマンの有志団体後方支援。。 <ul style="list-style-type: none"> ・通算3回参加 延べ約60人 シニア寿会にフレイル予防などを中心に講師として参加。	
		民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・通算2回 定例会議に2圏域参加しあんしんケアセンターの周知と連携を図った。	

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況	
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	地域密着サービス運営推進会議 生活支援コーディネーターの活用	運営推進会議に19回参加。運営の協議や他機関の取組などを伝える。 生活支援コーディネーターの活動で自立促進ケア会議を活用し、たんぽぽ広場祭り・区民まつりに趣味を生かしたつながりを創った。各種集いで人材を発掘し、各種地域の通いの場に案内した。また、通いの場でのボランティアの育成支援を行った。	◎

(6)	地域福祉情報の発信	広報紙発行	・ 6回発行。 広報誌を隔月で掲示板や自治会配布を発行。当センターの周知と、主として高齢者の日常生活に関する情報を掲載。広報誌を見た人が収穫祭に多く参加された。読者から掲載内容に関する問い合わせや感想を受けた。	◎
		まちかど相談	・ 通算 12回開催 延べ約 60人参加 あんしんケアセンター幕張の前で毎月 1回、定例にて相談会を実施。	
		出張相談会	JR幕張駅コンコース、老人会、地区民生児童委員会、地区社協、居宅介護支援事業所、医療従事者の依頼に基づき相談会を実施。支援の窓口提示や支援が必要な方への早期対応につなげた。	
(7)	学習の場や体験の場の創出	出張講座	・ 通算 10回開催 自治会、老人会、地区社協、居宅介護支援事業所、医療従事者、介護従事者の依頼に基づき相談会や勉強会を実施。 居宅介護支援事業所ケアマネジャーに向けた認知症学習会 2回開催。	◎
		認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座 1回実施 キッズ認知症サポーター養成講座 2回実施	

《基本方針 4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者被害、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起	管内警察署の話を地域住民へ広報誌や通いの場で配布や周知を行った。また消費者センター、千葉市作成のチラシやポスターをセンターに掲示。	○
(9)	身近な災害への備え	非常時訓練	・ 通算 12回実施 携帯発電機の操作確認と試運転を月 1回で実施。 予防プラン作成担当利用者の安否確認リスト作成を半年ごとに見直し。	○
		BCPの作成・実践	千葉市のハザードマップの確認と周知。 BCPを所内で確認し机上訓練の実施。	

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和7年度の実績 (上記項目の総括)	基本方針1、2については、計画通りに実施できた。特に基本方針1の活動は注力して取り組んだ。専門職による特別に管理された空間ではなく、地域の中に日常の空間として存在する場を確保していくことを目指した。基本方針4については、個人情報やプライバシーへの配慮等に取り組み課題を感じる場面も多かった。
令和8年度の目標	居場所づくりは昨年からの継続開催で広がりを見せている。継続的な運営と活動の維持のためにも、運営委員の育成を意識した支援と取り組みの呼びかけを行う。基本方針1、2については、注力して取り組むことを継続する。合わせて、運営役員の育成と後継を意識しながら基本方針3の活動を実践していく。
今後の課題と方針	防犯活動や災害の備えについては、個別性の強い内容も多い。地域活動として取り組むことのできる内容と、防犯・防災意識の普及啓発について、被害集中地域やハザードマップ該当地域を中心に呼びかけを継続する。圏域内で更にあんしんケアセンター幕張の周知。自分の居場所が皆の居場所になるよう、自分事としての街づくりの継続。そのために他機関の連携の強化を図る。
令和7年度の達成状況の自己評価	<p>◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）</p> <p>○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）</p> <p>△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）</p> <p>×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）</p>

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和7年度）
あんしんケアセンターこてはし台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	① 元気会(鷹の台) ② 健康寿命延伸プロジェクト(鷹の台) ③ 喫茶室「つどい」(こてはし台) ④ ふらっとみ春野 ⑤ はつらつ元気教室 ⑥ いこいカフェ	① ② 10月 千葉ヤクルト「腸活」出張講座(外部講師)を行った。参加人数; 67名 ③ 毎月、あんしんケアセンターの広報誌の説明、相談等を行った。参加者: 11名~23名 相談: 7名 ④ 10月 手洗いチェッカー体験(感染予防講習) 感染予防講習 椅子に座った軽い運動 早口言葉を行った。参加人数: 15名 ⑤ 第二、第四月曜日の月二回の開催。 (こてはし台開設当初から運営している。) 参加人数も安定している(13人~16名) ※4月曜日は外部講師(理学療法)による運動を行っている。 ⑥ 4月からこてはし台地区部会主催で開催。 広報誌を配布し、あんしんケアセンターの周知等を行った。③同様に必要時相談をうけている。相談: 4名	◎

(2)	交流の場づくり	① ふらっと横戸台(認知症カフェ)	① 10月 介護保険制度 利用料金 施設の種類・料金について講話を行った。参加人数：30名 不定期であるが参加し後方支援を行っている。	◎
		② ○○カフェ (認知症カフェ)	②オリーブハウス職員、こてはし台横戸台ボランティアの会等共に参加者がその日行いたいこと(歌、創作等)などセンター職員と一緒にいる。 千葉市認知症カフェの一覧にも記載しているため、見学された家族や認知症ステップアップ講座受講者の方も参加されている。(継続参加2名～3名)	
		③ケアラズカフェ	③11月 ほっとひといきカフェ(センター主催)自由に話したい事を話す環境が作れ、良い機会となった。参加者：2名	
		④サロン笑顔日和	④11月 コミュニティスペースそよ風にてモルボ50を開催した。(いきいきプラザ協賛)身体も使い、頭も使うので高齢者の全身運動に繋がった。参加者：10名	

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<p>・地域ケア会議</p> <p>①鷹の台・千代の台地域ケア会議(12月 3月開催)</p> <p>②ソレイユ鷹の台集会所地域ケア会議(1月開催)</p> <p>③新鷹の台第一集会所地域ケア会議(2月開催)</p> <p>②③については、今年度から開催。</p> <p>共通の会議内容として、地域の見守り強化、支援が必要な方への早期支援が行える体制構築、地域課題等。</p> <p>④こてはし台・横戸台地域ケア会議(3月開催)</p> <p>内容；事例を通じて、地域課題等を検討。</p> <p>今年度から横戸台自治会に依頼し合同で行った。</p>	◎

(4)	地域の機関・団体等との連携	<p>① 206、211 地区民生委員児童委員</p> <p>② シニアリーダー体操後方支援</p> <p>③ ・シニアサロン ・元気体操</p> <p>④ 花見川区いきいきプラザイベント</p> <p>⑤ オリーブフェスティバル</p>	<p>① 12月より担当が変更となった民生委員児童委員へ個別訪問し挨拶、センターの概要説明等行った。</p> <p>② こてはし台公民館で開催しており毎回、30名～45名参加されている。月1回参加し後方支援を行った。</p> <p>③ シニアリーダー体操から自主運営（2か所）となった体操教室に月1回参加、後方支援を行った。 ※課題として、担い手が不足している</p> <p>④ あんしんケアセンターさつきが丘と共催 ・健康フェスティバル（11月） 握力測定、どこ知る伝言板の掲示を行い普及啓発活動も行った。参加人数：45名</p> <p>・いきいきプラザのクリスマスイベント（12月） 認知症高齢者に対する声掛け訓練を実施（スタンプラリー＋風太君）、車いす体験（福祉用具事業所へ依頼） 参加人数：120人</p> <p>⑤ こてはし台中央公園で開催。（11月） 主催；オリーブハウス あんしんケアセンターでは握力測定を実施した。 参加者；30名 その他の出店としてクッキーや手作り小物、焼き鳥おにぎり ビール うどん クレープ等。</p>	◎
-----	---------------	---	--	---

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<p>・第1層 第2層生活支援コーディネーターと連携</p> <p>・第2層生活支援コーディネーターを中心に地域のサロン、サークル活動等と連携を図り、出張講座（外部講師含む）の依頼があり地域との連携を図ることができた。（感染予防 終活講座等）</p>	○

(6)	地域福祉情報 の発信	① 広報誌の 作成 ② 地域のイ ベント等 の周知	① ② あんしんケアセンター前掲示板の掲示やサロン（出張 相談含む）等で配布し発信を行った。	○
(7)	学習の場や 体験の場の 創出	① 認知症サ ポーター 養成講座 ② 高齢者見守 り・声掛け訓 練	① ・こてはし台小学校（４年生） 参加人数：５４名 認知症を怖いと思っていた児童が怖くない、優しくし ようと思った等の感想を書いたり嬉しいう変化 を感じる事ができた。 ・いきいきプラザ 参加人数：１５名 年齢層も幅広く、熱心に耳を傾けてくれていました。 体験談を話してくれたり、地域での声掛け方法を悩ん でくれたり、勉強・知識という枠を超えて、認知症高 齢者の生活を思い浮かべてくれていた。 ②「歩いてビンゴ」参加人数；９０名 主催；柏井地区子供会（令和５年度から共催） 協力；花見川区社会福祉協議会、あんしんケアセンタ ー花見川、生活支援コーディネーター、訪問看護事業 所 内容；認知症クイズ（認知症に対する声掛け問題等） として参加者が認知症役に声掛けしていただいた。子 どもの参加がある為、着ぐるみ（アレン君、ハーティ ーちゃん）も使用した。	◎

《基本方針４》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成 状況	
(8)	継続的な防 犯活動への 取り組み	① 消費者被害 防止啓蒙活動 ② 地域パト ロール活動	① センター前の掲示やサロン等の参加時に情報提供と共 に注意喚起を行った。 ② １２月 こてはし台（１丁目から６丁目）の防犯パト ロールに参加した。	○
(9)	身近な災害 への備え	BCP（事業 継続計画）	感染症について所内研修を行った。備品の確認等を継 続的に行っている。 自然災害時についてのセンター運営等は、次年度も具 体的な方策を検討していく。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和7年度の実績 (上記項目の総括)	<p>今年度は、新規地域ケア会議の立ち上げ2か所(ソレイユ鷹の台集会所地域ケア会議、新鷹の台第一集会所地域ケア会議)を行い、自治会、民生委員児童委員、社会福祉協議会、福祉活動推進員等と連携を図り地域課題や、支援が必要な方への早期支援が行える体制構築が行えた。</p> <p>計画していた地域活動については、他機関の協力や他圏域のあんしんケアセンターと共催し地域活動を行えた。</p>
令和8年度の目標	<p>令和5年度から計画している地域ケア会議(花見川中学校地区 第22地区)の最終年度となる。</p> <p>実施エリア; 南柏井町内会 ・ 北柏井町内会 ・ 芦太山自治会</p> <p>内容: 地域の見守り強化、支援が必要な方への早期支援が行える体制構築、地域課題。※その他地域(第22地区)についても継続して行っていく。</p> <p>上記から自治会、民生委員児童委員、行政等などの関係機関と連携(地域ケア会議の活用)を図ることで積極的なアウトリーチを行い、地区特性や地域の実情を踏まえたニーズを掘り起こし、地域づくり等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターと連携し、介護予防の取り組み(高齢化率が低いみ春野地域等)や自治会等で開催している通いの場等への支援を行う。 ・支援者や家族介護者などに向けた支援の充実、学びの場の提供を行う。
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川中学校地区(第22地区)全域との地域ケア会議を開催する。 自治会、民生委員児童委員などの関係機関と連携を図り、地域課題、支援が必要な高齢者へ早期に支援が行える体制を強化する。 ・今後高齢化率の上昇が見込まれるみ春野地域に対して、介護予防等の取り組み支援を行う。 ・令和7年度行った圏域内の支援者や家族介護者などに向けた支援体制を充実させるために、ケアラズカフェを年度2回行う。
令和7年度の達成状況の自己評価	<p>◎: 年度目標以上のものが達成出来た場合 (達成率 100%以上)</p> <p>○: 年度目標が概ね達成できた場合 (達成率 50%以上 100%未満)</p> <p>△: 年度目標の一部が達成できた場合 (達成率 10%以上 50%未満)</p> <p>×: 年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合 (目標に対する達成率が 10%未満)</p>

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和7年度）
あんしんケアセンター花見川

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<p>高齢者サロン・サークル</p> <p>【長作町地域】 ・地蔵作サロンへ毎月（計12回）参加し介護予防普及啓発の促進を行った。6月には千葉市消費生活センターを招き「悪質商法の手口と対処法」の講座を行い、8月と9月には高齢者運転免許更新の講座を開催した。</p> <p>【花見川団地】 ・金曜クラブへ7月に参加し、介護予防普及啓発と併せてラジオ体操教室やはなカフェや学びの会の参加促進を図った。</p> <p>【花島町地域】 ・花島お楽しみ会に4月と7月と11月と1月（4回）参加し、介護予防普及啓発他、体操や余暇活動を支援した。</p> <p>【柏井1丁目地域】 ・いこいの集い3回に参加して千葉市あんしんケアセンターの普及啓発を継続した。</p> <p>自主的に体操教室を行う団体 ・楽々体操教室へ毎月2回（計24回）開催しリハビリ専門職の派遣事業や市内で活動するリハビリ専門職へ協力を仰ぎ体力測定会等を通じて介護予防普及啓発や活動促進を図った。 ・ストレッチ体操へ活動状況確認含めて2回に参加した。目標としている月1回以上の参加は達成。</p> <p>介護予防・体操教室</p> <p>①圏域にある4カ所のシニアリーダー体操教室へ出向き、計48回参加して後方支援を継続した。参加者から地域課題で上がったイオンの移動スーパーはお試しを実施し本格的に始動するのは来年度になる予定（令和8年4月に入りイオンで検討に入る） ②握力測定会は4月と10月に2回開催し69名の参加があった。</p>	◎

			<p>③花見川いきいきセンターで開催した健康相談会に6月12月に参加し計25名の方が相談へ来られた。</p> <p>④長作町内会本区において、体操教室が開催されている場所までは遠く、参加が難しいと声が上がった地域においては、第1層・2層生活支援コーディネーターと花見川区健康課と地域の担い手と場所を探す取り組みを継続中。</p>	
2)	交流の場づくり	<p>・ 認知症カフェ ・ 認知症な一るほど the World</p> <p>・ ふれあい喫茶</p>	<p>当センターが取り組んでいた認知症カフェ（まんだりいなカフェ）では、他の業務との兼ね合いにより、年1回程度しか開催できなかった。定期開催の課題に対応する為、美浜区で認知症カフェを運営されている団体の見学や意見交換を行い、令和6年度から今年度にかけて勉強会「認知症な一るほど the World」を開催、認知症の普及啓発を図った。参加されている住民や事業所の方から花見川団地内で認知症カフェの必要性の意見が挙がり、訪問看護事業所が主催となり複数個所の協力団体と住民ボランティアで花見川団地に「はなカフェ（認知症カフェ）」を立ち上げ、毎月開催・活動を行っている。</p> <p>認知症の勉強会は今年度継続し来年度から、はなカフェが後を担っていく方向となる。</p> <p>・ 認知症な一るほど the world 今年度の活動内容</p> <p>4月14日 人生会議 もしバナゲーム</p> <p>7月 4日 認知症の方を支える家族の気持ち</p> <p>11月 7日 認知症の方への接し方</p> <p>2月16日 認知症について皆で話してみませんか</p> <p>ふれあい喫茶花見川と作新台にほぼ毎月参加（22回）し、介護予防普及啓発を行った。その際に介護保険制度含めた相談を受け、出張相談窓口として相談に対応している。また、1月より長作台にてふれあい喫茶弥生ヶ丘が開始され毎月参加している（3月まで3回参加）</p>	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<p>・地域ケア会議</p> <p>花見川団地地域ケア会議開催：6月と11月と3月に開催</p> <p>5年、10年後の団地をテーマに高齢者世帯が増えていく事について、その他の課題を参加者と話し合う。地域での高齢者の見守りについては、花見川団地地域ケア会議の際に検討を重ねた。商店街や自治会、民生委員等が気になる高齢者等の発見時にあんしんケアセンターへ連絡が入り、情報共有を図る事で体制が整いつつある。商店街や良品計画が実施している会議と地域ケア会議を連動して地域づくりを進めていく事を参加者と共有。ゴミ出し支援等では、ユニバーサル就労や障害福祉サービスの就労継続支援B型事業所との連携を視野に入れていく事を共有した。</p> <p>柏井1丁目地区地域ケア会議：10月と2月に開催。初めての開催となり、あんしんケアセンターの事業内容等を説明し、参加者と地域の課題について話しあった他、2つの自治会より千葉市あんしんケアセンターの周知が足りない、介護保険関係の講座等の開催の要望を受け、毎月発行している広報誌を3自治会の回覧板へ配架する、「いこいの集い」の会を利用して周知活動を行い、参加者に対し、参加されていない方にも千葉市あんしんケアセンターの周知の協力を依頼した。</p> <p>「いこいの集い」参加者から、あんしんケアセンターはみんな知っているとの意見も頂けた。来年度も年2回にはなるが地域ケア会議を継続し、介護予防普及啓発や介護保険サービスや、権利擁護をテーマに地区の民生委員と協働して講座開催を企画してしく。</p> <p>・天戸地域運営委員会</p> <p>・天戸地域運営委員会へ6回と参加して自治会を含めた各団体との接触を図る。その際にあんしんケアセンターの事業説明や実際に関わっている自治会との支援事例をもとにあんしんケアセンターとの関わり方を他の参加団体へイメージしてもらった事と、定例会にて独居、身寄りのいない孤立されている高齢者支援について、議題を上げて参加団体と検討会を行った。</p>	◎

(4)	地域の機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区民児協定例会参加 ・ 敬老会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 211・212地区は5月に参加。他213地区民児協定例会へ10回参加して、相談件数の傾向やあんしんからの情報などを共有した。213地区民生委員より研修会の依頼を受け、5月に介護保険の理解を深める研修会を実施し、花島町にある特別養護老人ホームと介護老人保健施設で併設サービス含め事業概要説明と見学会・施設職員との意見交換会を実施した。身近な施設の取り組み状況や併設するサービス内容を知る機会を提供した。他2月に圏域で活動されている居宅介護支援事業所との意見交換会を開催、介護支援専門員へ民生委員の対応や悩み事を共有した。 ・ 花見川住宅自治会と花見川団地自治会の敬老会へ9月14日に参加、花見川住宅自治会の方では、時間を頂いており、敬老の挨拶の他介護予防普及啓発の講話を行った。 	◎
-----	---------------	---	---	---

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス運営推進会議 ・ 成年後見制度講座 	◎
(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張相談会 	○

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 認知症キッズサポーター養成講座 ・ 外国文化交流会 ・ 介護に関するお役立ち講座 	<p>4月16日に花見川公民館にて地域住民と公民館職員を対象に23名の方が参加された。</p> <p>9月19日長作公民館にて14名の地域住民が参加された。</p> <p>キッズ認知症サポーター養成講座を1月21日作新小学校で開催した。来年度も継続した際に、2部制にて1部は講座編、2部は実践編として校庭を利用して声掛け訓練をしてみる事はどうか提案したところ、作新小学校側で検討頂く事となった。</p> <p>花見川団地で外国人が多く生活されている。花見川公民館主催で他国の文化を知るきっかけ作りとして交流会を開催。千葉市国際交流協会から派遣されたキューバ出身の講師と公民館職員が参加者と一緒に歴史に触れながらキューバ料理を調理して試食を行った。参加者からも多文化の事を知れる機会はとても良かったと好評であった。</p> <p>花見川公民館主催で、千葉市家族介護者支援センターを講師として招き、介護に関する座学と実技を行う講座に参加した。参加者からは、介護が身近な事と捉える事が出来た。介護予防を意識したい等の意見を聞く事が出来た。</p>	◎
-----	----------------------	--	--	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者被害防止啓蒙活動 ・ 地区の防犯パトロール <p>高齢者サロンへ参加した際に、千葉市消費者生活センターを招いて悪質商法の手口と対処方法についての講座を行った。(6月4日)他、民児協定例会に参加した際にも注意喚起のチラシ配布、センター前掲示板にて注意喚起を行った。</p> <p>12月に作新台・花見川住宅自治会の防犯パトロールに参加予定であったが、天候悪化で中止となり、参加できなかった。</p>	○

(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同避難訓練 ・ 災害対策 	<p>旧花見川第三小学校避難所運営委員会が企画している避難訓練に11月29日に参加し、地域での防災意識や要配慮者（独居高齢者等）の対策や検討事項を確認した。</p> <p>花見川団地自治会と花見川住宅自治会に防災アンケートを実施。同様に圏域の自治会へアンケートを出し状況把握を進めBCP計画と連動させていく</p>	○
-----	-----------	--	---	---

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和7年度の実績 (上記項目の総括)	認知症の勉強会を始め認知症サポーター養成講座、認知症カフェの立ち上げ、権利擁護の講座開催、地域ケア会議では新たな地域で会議を開催する等、この1年は様々な取り組みを行った。大変な1年ではあったが、1人暮らしの高齢者に対する地域の見守りや気になるケースの情報提供を行った。自治会や民生委員との日々の関わりを連携が少ない地域へ示す事ができ、地域との協働支援の強化ができた実感できた。
令和8年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症サポーター養成講座、権利擁護講座の未開催地域での開催 ②地域運営委員会を通じて議題を投げかけ地域の課題を確認し必要に応じて地域ケア会議等を町ごとに開催 ③既存の活動場所の継続運営支援
今後の課題と方針	相談が多く寄せられる包括センターで、総合相談対応や包括業務多忙ではあるが、引き続き地域で取り組まれている活動を生活支援コーディネーターと共に参加したり地域運営委員会や地域ケア会議を通じて地域住民や支援者と関わりを持ち、地域づくりに邁進していく。
令和7年度の達成状況の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上） ○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満） △：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満） ×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和7年度）
あんしんケアセンターにれの木台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<p>①ラジオ体操の継続開催</p> <p>②健康教室の開催</p> <p>③シニアリーダー体操の周知</p>	<p>①平日の午前9時から事務所前で開催している。フレイル予防の観点で実施した。開始時に健康面の自己管理の大切さを伝え、いきいき手帳の配布も行った。4月～1月で延べ3,611人の参加があった。日々参加者が20名を超えている。口コミで新たな参加者も増えた。さらに参加者同士でグループもでき、新たな活動（日帰り旅行等）にもつながっている。</p> <p>②にれの木台UR集会所と西小中台第一集会所で健康教室を全15回開催した。2会場の地域住民の延べ参加者は165名になった。 内容は「脳年齢、血管年齢の測定」、「健康テレビゲーム体験」、「体操を織り交ぜたコンサート」、「いきいき活動手帳の説明および配布」、「感染症予防」、「人生会議を考える」、「悪質商法の手口と対処法」等をテーマに開催した。3月には地域課題である坂道や階段への対応として地域リハビリテーション事業と協働し体力測定や歩き方をテーマとした講演をいただく。</p> <p>③圏域内で開催されているシニアリーダー体操について、生活支援コーディネーター、保健師が参加。要支援や前段階の方を中心に紹介した。4月～1月の間に19名紹介し、6名の方が利用につながった。</p>	◎

(2)	交流の場づくり	<p>①手仕事サークル</p> <p>②認知症カフェ</p> <p>③地区社協主催のカフェ</p> <p>④圏域内イベントの周知</p> <p>⑤畑コミサロンへの参加</p>	<p>①閉じこもりの防止の観点からも、昨年度まであんしんケアセンターが主体的に開催してきた。今年度は毎月第2第4水曜日に開催。都度約10名の参加があった。5月に打ち合わせを行い、既に地域の集いの場として成立しており、11月以降自力運営に移行する結論となった。その後の調整で地区部会のサロンとなった。あんしんケアセンターは後方支援を行っている。</p> <p>②月1回開催される認知症カフェ「ホットスペース畑」に7回出席し側方支援を行った。あんしんケアセンターに相談がつながった方やその家族に声掛けしたが利用につながらなかった。主催者、市とも協議し、集まらない原因として地域性もあることを確認。今後、主催者がテーマを決めて開催する形となった。</p> <p>③7/5(土)朝日ヶ丘地区部会が開催した「第1回おしゃべり広場」にあんしんケアセンターとして参加した。地域住民、福祉部会の委員、民生委員や自治会長など約40名が出席された。参加者にあんしんケアセンターの説明や周知を行った。</p> <p>④圏域内のイベント(お散歩クラブ、子ども食堂、コンサート、畑コミュニティセンターのイベント)のチラシをセンター壁面に貼り付けし広報した。</p> <p>⑤1/23に初回が開催された。あんしんケアセンターの事業周知を行った。</p>	◎
-----	---------	---	--	---

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<p>①地域ケア会議、多職種連携会議の開催</p> <p>①・個別ケースの対応において、3ケース、地域ケア会議を開催した。地域課題を中心とした地域ケア会議の開催には至っていない。独居の認知症の方への対応や精神症状のある方への対応など、課題も少しずつ明らかになってきている。次年度は地域ケア会議の充実を目指したい。</p> <p>・多職種連携会議をあんしんケアセンター花園、在宅医療・介護連携支援センターと協働し開催した。テーマは多職種で考える人生会議（ACP）のタイミングと伝え方とし、千葉市の取り組みを説明いただいた後、参加者でグループワークを行った。外部参加者は45名であった。</p> <p>下半期は区内全あんしんケアセンターで協働して多職種連携会議を開催する。「本人らしい暮らしを見つける～生活支援コーディネーターの役割・活動を知る～」と題し、生活支援コーディネーターの役割や活動を知ってもらうと同時に、相談者の生活や人生にプラスアルファで生きがい・やりがいや楽しみが持て、生活の質が上がるような支援を共有し、より連携を促進していく内容としている。</p>	◎
	②ケアマネジャーの後方支援	<p>②1/15 に区内の全あんしんケアセンターで組織する主任ケアマネの会の主催で法定外研修を開催した。テーマは「ケアマネジャーが抱えるシャドーワーク、ハラスメントへの対応」～法的根拠の理解とその対応方法を考える～とし弁護士を講師に迎えた。当日は78人の参加（圏域実績13名）があった。</p>	
	③ケアマネ交流会の開催（区域、圏域）	<p>③10/16 に区内の主任ケアマネの会主催で、地域のケアマネジャーとの交流会を開催した。当日は54名（圏域実績9名）の参加があった。地域の情報や日々の悩み事など共有され有意義だった。また、その場で圏域内開催希望の声も聴かれた。</p> <p>その声に応える形で、2/18に圏域内でケアマネ交流会を企画した。交流の他、来年度から加算が始まるケアプランデータ連携の勉強会も行う予定である。</p>	

(4)	地域の機関・団体等との連携	①地区民生委員児童委員協議会の定例会に参加	①・203（朝日ヶ丘）地区は月1回の定例会に出席した。会議終了後に具体的なケースの進捗を共有したり、新規の相談を受けつけた。また、204（畑町）地区は要請時に出席した。 ・その他、2地区（畑町東部地区、西小中台団地）の敬老会への出席依頼があり、挨拶や体操などを行った。	○
		②千葉市生活自立・仕事相談センター花見川との連携	②年2回の支援調整会議に出席した。また個別支援においても複数事例で協働した。その他、千葉市生活自立・仕事相談センター花見川に係る連携会議に出席し事業理解・地域づくりについて考えた。	

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	○運営推進会議への参加	・圏域内で地域密着型サービスを運営している7事業所の運営推進会議に出席した。合計24回出席している。	◎
(6)	地域福祉情報の発信	①区民まつりへの参加 ②出張相談会やイベント開催時の相談ブースの設置	①10/26に花見川区民まつりに区内全あんしんケアセンターで協働・出展した。あんしんケアセンター事業とどこ知る伝言板の周知を行った。悪天候の中、ブース来場者は261人（1センター実績53名）だった。 ②・出張相談会は西小中台地区とにれの木台地区の健康教室開催後に開催した。今後は畑地区で開催を目指したい。 ・7/25のにれの木台地区の夏祭り、9/30にURと共催した福祉イベントにおいてブースを作り周知活動と相談を受け付けた。	◎

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	<p>① 介護予防 や介護保険制 度、あんしん ケアセンター の周知</p> <p>② 認知症サ ポーター養成 講座、認知症 キッズサポー ター養成講座</p>	<p>①6/3 朝日ヶ丘地区部会主催のふれあい講座にて「あんしんケアセンターはどんなところ？」というテーマで講演を行った。他、6/26 NGO新日本婦人の会からの依頼で、「あんしんケアセンターと介護保険のお話」として講演を実施した。</p> <p>②・認知症キッズサポーター養成講座の依頼が西小中台小学校や畑小学校からあり、講師として参加した。また、認知症サポーター養成講座を朝日ヶ丘公民館の依頼で、2/15に開催することになった。他、キャラバン・メイト養成研修を一人が修了した。</p> <p>・西小中台小学校6年生を対象に総合的な学習の時間の一環として「今の自分、未来の自分」をテーマとした学習があり、ゲストティーチャーの依頼があり出席。福祉や介護業界の周知と仕事のやりがいについて伝えた。</p>	◎
-----	----------------------	--	---	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成 状況	
(8)	継続的な防 犯活動への 取り組み	○消費者被害 や、詐欺被害 防止のための 啓蒙活動	○1月13、20日に当センター主催の健康教室において「悪質商法の手口と対処法」と題し、千葉市消費生活センターに消費者被害や詐欺被害について講演いただいた。2会場で計19名の参加があった。参加者から積極的な質疑や体験談の共有があり、有意義な会となった。	◎
(9)	身近な災害 への備え	○避難訓練	○センター内で定めたBCPを読み合わせ確認し、各々の業務分担など机上の訓練を行った。だが、自治会とは挨拶をするにとどまり、訓練の協働等は次年度に取り組む形となった。	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

<p>令和7年度の実績 (上記項目の総括)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は、前センターの活動を引継ぎ、あんしんケアセンター事業の理解や地域を知りながらの活動となった。受託法人が変わったことも含めて事業周知を行った。地域の民生委員会議、運営推進会議、支援調整会議に定期的に出席したり、社会福祉協議会の地区部会の活動に参加することで、顔の見える関係性の構築を進めた。結果、地域から事業説明等の講演やイベントへの出席依頼があり、対応した。 ・前法人が行ってきたラジオ体操や健康教室はスムーズに継続実施ができた。同時にいきいき活動手帳の積極的な周知、配布を行った。 ・出張相談は西小中台地区、にれの木台地区から開始することができた。 ・2層、1層の生活支援コーディネーターとも協働しながら、相談内容に応じてインフォーマルな地域資源とのマッチングや情報提供を行った。 ・自立促進ケア会議の取り組みを通して、地域課題の抽出や取り組み方法、関係団体との連携・協働をすることができた。坂道や階段のある町で暮らし続けるために住民、関係機関と協働して対応していく。 ・圏域内の認知症カフェの開催について、あり方や関わり方を含め繰り返し協議を行った。 ・在宅医療・介護連携支援センターと協働し、「人生会議」をテーマに多職種連携会議や健康教室を開催した。 ・2月に地区踏査を実施し、地域理解と課題の抽出を進めている。 ・地域の居宅介護支援事業所と課題の共有、顔の見える関係を作ることを目的に交流会を開催できた。
<p>令和8年度の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が住み慣れた地域で安心して生活を送ることが出来るように、医療・介護・福祉と連携を図る。複合的な問題を抱えているケースに対しては、高齢障害支援課や関係機関と連携し対応していく。センターから離れた地域の関わり方を深める。 ・あんしんケアセンターで受け止めた相談や地区踏査で明らかになった課題を分析し、区や関係機関、自治会、民生委員等と共有し、地域課題の解決に向けて取り組む。防災訓練の共同開催も検討する、その際、地域ケア会議を有効に活用する。 ・あんしんケアセンターの周知活動を継続する。介護予防の普及啓発や認知症の理解を促進できるように講座、研修、イベントの開催等に努める。その際も地区社協、自治会、民生委員等と連携し開催する。 ・包括3職種それぞれが、専門分野を活かした対応や支援ができるよう、計画的に研修を受講するなどし、スキルアップに努める。

今後の課題と方針	<p>①あんしんケアセンター事業の周知活動を継続する。</p> <p>②個別支援や地区踏査をとおり地域課題を抽出する。</p> <p>③地域ケア会議の積極的な開催、質の充実を目指す。</p> <p>個別支援や地区踏査から抽出された地域課題をもとに、住人や関係機関と協働し、地域ケア会議を開催する。地域ケア会議の質の充実を目指す。</p> <p>④圏域内の団体、関係機関を対象にした研修会の企画、運営を目指す。</p> <p>個別支援や地域づくりを充実させるため、他事業について理解し連携を深める。</p>
令和7年度の達成状況の自己評価	<p>◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）</p> <p>○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）</p> <p>△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）</p> <p>×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）</p>

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和7年度）
あんしんケアセンター花園

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアリーダー体操検見川5丁目 ・ふれあい昼食会 ・活躍の場の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回参加し、運営支援、いきいき活動手帳の配布を行うとともに、6月・1月には歩断測定会を開催。推奨する運動について解説し、6か月間の効果を観察した。 ・毎週金曜日、運営支援、いきいき活動手帳の配布を行うとともに、健康課と連携し出張講座を開催した。 ・圏域内の入所施設及び公民館と連携し、地域の自主活動グループの活動の場（演奏発表、出張カフェ、ドッグセラピー等）を創出した。 	◎
(2)	交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・予防啓発活動 ・認知症カフェ運営支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動（シニアリーダー体操・ふれあいサロン・ふれあい食事会・老人クラブ・自主サークル活動）を訪問し、その時期に発生しやすい事故及び疾病について注意喚起を行った。 ①【花園みんなのカフェTOMO】毎週火曜日開催。地域資源の情報共有、来訪者の本人及び家族の話を傾聴し適宜情報提供を行った。 ②【まちの談話室】毎月1回開催。地域の参加者と交流しながら相談に対応した。 	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議 ・民生委員との情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点地区（今年度花園2丁目）の民生委員さんの協力を得て、地域課題を把握。あんしんケアセンター花園の業務の周知を目的とした。 ①交流の場である「TOMO」と共同で、歌のイベントを開催。 ②日頃業務で重点地区の高齢者と接する機会が多い機関及び民間事業所23か所を訪問し連携を計った。 ・民生委員より連絡いただいた高齢者宅を訪問。同行ではない場合は都度訪問後情報共有した。 	○

(4)	地域の機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区民児協定期会への参加 ・ 地域活動団体との関係構築 ・ 地域密着型サービス運営会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 201.202 地区の地区民児協定期会に必要なに応じて参加し、あんしんケアセンターから周知、情報共有と連携をしてきた。(4回) ・ 社協検見川地区部会開催のいきいきサロンに参加、ミニ講座を開催し情報発信した。ふれあいサロン検見川では、出張講座、いきいき活動手帳の配布、歩行測定会、福祉用具体験会を行った。(10回) ・ 社協花園地区部会ふれあい食事会にて、あんしんケアセンター業務、フレイル予防の講座を実施した。(2回) ・ 町内自治会主催の敬老会に於いて祝辞を述べると共に、介護予防に関する情報提供や出前講座を実施した。(3回) ・ その他以下の団体の活動時に参加し、あんしんケアセンター業務の周知、地域情報の発信を実施。町内自治会・自主運営サロン・民児協・老人クラブ・地区部会・シニアリーダー体操 ・ 圏域内の小規模多機能、デイサービス事業所の運営会議に出席し、地域状況の共有と福祉サービスの質の向上について意見交換を行った。 	◎
-----	---------------	---	--	---

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター、シニアリーダー ・ 在宅で可能な社会参加について周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーターステップアップ講座修了者へ個別に連絡し、活動意思確認と圏域内の活動についての周知を行った。シニアリーダー養成講座に講師派遣を4回行った。 ・ 特定事業所研修にて地域資源や在宅で可能な社会参加について周知した。併せて介護支援専門員に対し紙エコバック製作方法を説明した。 ・ 認知症カフェや地域のサロンに於いて紙エコバックや猫トイレ製作方法を周知。参加者が自宅で製作したエコバックを、駄菓子屋を運営するデイサービスや調剤薬局で使用する流れを創出した。 	○

(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌の作成 ・ 出張相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あんしんケアセンターの周知と情報発信を目的に、広報誌「花園だより」を4回発行した。郵便局や公民館、商店、センター前に掲示すると共に、シニアリーダー体操やイベント等で配布。広く情報発信を行った。 ・ サロンやシニアリーダー体操、ふれあい食事会など地域の集まりに参加し、気軽に相談できる機会を作ってきた。 	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張講座 ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 公民館主催イベントへの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 花園婦人会にて「正しい薬の飲み方」の講座を企画した。 ・ 10月 202地区ふれあい食事会にて「人生会議」「介護予防」の講演を行った。 ・ ふれあいサロンけみがわにて、介護予防、熱中症、動脈硬化、高齢者に必要な栄養、消費者被害などの講座を行った。 ・ 10月検見川小学校にて4年生144人を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。 ・ 3月検見川公民館及び花園公民館の主催イベントの企画、運営、講師及び講師紹介を行った。 ・ その他両公民館主催行事では、地域活動訪問時に案内し周知に協力した。 	○

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況	
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者被害防止への啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「花園だより」に詐欺に関する情報を掲載し、郵便局や公民館、商店、センター前に掲示し情報発信を行った。(年間4回) ・ 民児協や老人クラブの定例会、認知症カフェ、自治会サロンにて詐欺被害の現状と注意喚起を実施。(9ヶ所) ・ 地域活動訪問時に花見川区製作の防犯アイキャッチの説明、配布を行った。(13ヶ所) 	◎
(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ BCP(事業継続計画)の作成 ・ 非常時訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の安否確認者の確認及びリストアップし、緊急時に素早く対応できるよう情報整理した。また、停電時に備え必要な情報のファイリングを行った。 ・ 携帯発電機の試運転を月1回実施した。 	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和7年度の実績 (上記項目の総括)	予定していた事業計画はほぼ実施できた。今年度も、生活支援コーディネーターと協力し、地域の集まりに多く参加することができた。また、地域からの講座の依頼も複数あり、介護予防やあんしんケアセンターの周知を行う機会が当初の計画以上に行うことができた。
令和8年度の目標	引き続き、地域の活動に参加、あんしんケアセンターが身近な存在となれるよう周知活動を続けていく。 地域資源を広く、必要な方々に知らせていくよう努める。
今後の課題と方針	令和7年度花園地区で行ったイベントが好評だったため、地域の居場所づくり、介護予防活動、あんしんケアセンターからの情報発信の場として、令和8年度は年4回企画していく。 生活支援コーディネーターと協力し、地域資源の情報発信や認知症の理解を深められるような活動を検討していく。
令和7年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上） ○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満） △：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満） ×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）